

令和6年度 第4回能代市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議の概要

○日 時 令和7年1月15日(水)午後2時00分～4時00分

○場 所 能代山本広域交流センター 第一研修室ほか

○案 件

(1)次期総合戦略の策定について

・次期総合戦略骨子案についての意見交換

○内 容 2グループに分かれ意見交換 30分

＜総合戦略会議での意見交換の概要＞

グループA

■ 班別意見交換の主な意見（テーマを設けず、総合的な意見交換を実施）

1. 総合戦略素案全体に関する意見交換

家事は地域・年代等で捉え方が異なるため次回アンケート調査は具体的な表現を加えてはどうか
本戦略に記載している取組の結果、市民の暮らしがどうなるかを議論・可視化すべき
KPI の目標値の設定について、根拠や考え方を説明できるようにした方が良いのではないか

2. 各基本目標に関する意見等

基本目標1

効率化（DX）による多様な担い手の創出について、表現内容を再考してはどうか
再生可能エネルギーの導入で当地域にどれくらいの恩恵があるのかを今後議論していくべき
外部環境の変化等を踏まえた上で、再生可能エネルギーの重要性を発信してはどうか

基本目標2

市外からの転入者の意見を聞いていくべきではないか

基本目標3

企業・職場における子育て支援の観点も組み込んでどうか

基本目標 4

安全安心な地域づくりに関して、クマ出没への対応の観点を入れてはどうか

■ 班別意見交換の議事概要

① 総合戦略素案全体に関する意見等

家事は地域・年代等で捉え方が異なるため次回アンケート調査は具体的な表現を加えてはどうか

- 一般アンケート調査で、家事や育児の役割分担について聞いているが、家事や育児のイメージについては、個人や地域、年代によって内容が変わってくると考える。具体的な表現を加えてはどうか。
- 今後のアンケートにおいては、具体的な家事のイメージが付くように補足して実施したいと思う。（事務局）

本戦略に記載している取組の結果、市民の暮らしがどうなるかを議論・可視化すべき

- 前回会議で議論していた人もいたが、今回の戦略で記載されていることを達成した結果、どうなるかを示さなくても良いのか。本戦略に記載されていることを行った結果、市民の暮らしがどうなるかの議論をした方が良い。
- KPI については、毎年評価を実施している。その評価の結果を分かりやすい形で可視化し、市民に発信をしていきたいと思う。（事務局）

KPI の目標値の設定について、根拠や考え方を説明できるようにした方が良いのではないか

- KPI の目標値の設定の考え方について、考え方が曖昧な部分も見受けられるが、その根拠や考え方を説明できるようにしておいた方が良いのではないか。なお、KPI の評価が悪い項目については、同じ取組をしているだけでは改善できないと思うため、今後、新規の取組を記載してはどうか。

② 各基本目標に関する意見等

基本目標 1

効率化（DX）による多様な担い手の創出について、表現内容を再考してはどうか

- 総合戦略素案 P13 「1-1 産業全般における担い手確保 ③効率化（DX）による多様な担い手の創出」について、表現内容を再考してはどうか。DX による効率化については、ロボット化等も含めて、分かりやすく記載してはどうか。
- 効率化（DX）によって幅広い世代の方が働くことのできる環境整備をし、労働力の平準化を図ることを意図して記載しているが、それにより働きやすくなることが伝わるよう修正する。（事務局）

再生可能エネルギーの導入で当地域にどれくらいの恩恵があるのかを今後議論していくべき

- 風力発電などの再生可能エネルギーの導入で本市にどれだけ恩恵があるのか、今後議論していくべき。具体的には、再生可能エネルギー関連企業への就職者数を把握することでそうした産業

による恩恵を可視化できるのではないか。次期戦略を考える上では、そうした観点を組み込んではどうか。

外部環境の変化等を踏まえた上で、再生可能エネルギーの重要性を発信してはどうか

- アップルなどの世界的大企業において、再生可能エネルギーを使用している企業からしか製品を調達しないとといったカーボンニュートラルを意識した動きがあると聞いている。再生可能エネルギーの重要性を可視化するためにも、そうした内容を記載してはどうか。
- 大企業において、カーボンニュートラルを意識した流れがあることは、報道レベルであるが聞いている。ただし、今後もそうした流れが続くかどうかについては、米国大統領も変わることもあり、不確実性が高い。全体の方向性としては、カーボンニュートラルの流れが継続すると思うが、そうした動きの時間軸までは読めないところがある。

技術革新などで外部環境は変化し得るため、現段階では現状の対応で良いと思う。状況が変化した際には柔軟に対応できるような体制構築が重要。

基本目標 2

市外からの転入者の意見を聞いていくべきではないか

- どの企業も人手不足の状況であり、人がいないとどうしようもない。市外から転入してきた人の意見をもっと聞いてほしい。中国木材の誘致によって、流入してきた人もいるため、そのような方の意見を聞いてはどうか。

基本目標 3

企業・職場における子育て支援の観点も組み込んではどうか

- 総合戦略素案 P12「1-1 産業全般における担い手確保 ①処遇改善に向けた企業への働きかけ」について、「子育てや介護と両立しやすい職場づくりの推進」との記載がある。他方で、P26「3-2 妊娠・出産・子育ての希望をかなえる ②多様かつ切れ目のない子育てサービスの充実」においては、「学校・地域・家庭の連携強化」との記載にとどまっている。この連携強化の中に企業・職場の観点も組み込んではどうか。
- 職場内に保育園があればよいと思うが、企業規模的に難しい場合もあるだろう。そうした企業が保育園を開設する支援を公的機関がしてはどうか。

基本目標 4

安全安心な地域づくりに関して、クマ出没への対応の観点を入れてはどうか

- 総合戦略素案 P30「4-1 生活機能の向上と安全安心の地域づくり」に関連して、最近県内ではクマが多く出没していることから、クマ出没への対応の観点を組み込んではどうか。今回の戦略には組み込まなくても良いと思うが、メディアでも市街地周辺にクマが出没するような報道がされていることもあり、危険なイメージを払拭するためにも何かしらの対応を考えていただきたい。

グループB

■ 班別意見交換の主な意見（テーマを設けず、総合的な意見交換を実施）

1. 総合戦略素案全体に関する意見交換

総合戦略をはじめとする市の取組を広く普及するための工夫（イメージ図の挿入等）が必要

2. 各基本目標に関する意見等

基本目標 1

若者を惹きつける産業振興とチャレンジできる機運の醸成を通じて地域の魅力を高めるべき

若者の地元就職の促進と併せて将来本市に戻りたくなるような関係性を構築すべき

基本目標 2

若者の地元定着を促進するためにキャリア教育、ふるさと教育が重要

基本目標 3

子育てへの課題解消に向けた支援策の強化が必要

基本目標 4

市民の参画を促しながら、本市の魅力を掘り起こし、その発信を強化していくべき

本市を離れた人との持続的な関係構築への支援をしてはどうか

多様な教育の選択のため、安心・安全を支える支援を強化してはどうか

3. 総合戦略会議の実施体制や推進方法に関する意見等

テーマ別議論によって、より具体的な意見を引き出しやすくなるのではないか

他の課と連携して、市民の学び・意見交換の場を企画してはどうか

■ 班別意見交換の議事概要（テーマを設けず、総合的な意見交換を実施）

① 総合戦略素案全体に関する意見交換

素案に関する質疑応答

- 総論に異議はない。総合戦略の名称が変更となった経緯を伺いたい。個人的には今回の名称の方が良いと思料する。
- .. 元々、国のデジタル田園都市構想で示されていた手引きを参考にしていたところ、政権が変わり新たな考え方も出てきた。しかし、国の考え方が変わるたびにその都度国に左右されるものではなく、あくまで能代市はどうするかという視点に立っている。（事務局）
- KPI に関しては、目標のハードルが高いものもあるのではないか。
- .. 今回人口減少を受け止めた目標設定にしている。そのため数値を単純に伸ばすことを目指すのではなく、現状の維持や規模に合った設定とした。また、件数や人数ではなく、割合を指標に採用し実現可能性を考慮している。（事務局）
- ..

総合戦略をはじめとする市の取組を広く普及するための工夫（イメージ図の挿入等）が必要

- こうした市の取組について初めて知り、高く評価できる内容と感じたが、それを伝える手段としては

文字だけだと分かりづらい部分もある。そのため、今後推進していく中で基本目標ごとに図解やイメージ図を活用することも有効な手段の一つと考える。

② 各基本目標に関する意見等

基本目標 1

若者を惹きつける産業振興とチャレンジできる機運の醸成を通じて地域の魅力を高めるべき

- 風力や水素、木都など本市の特徴ある産業について学べる機会があれば、若い人も集まるのではないかと。欧州のとあるバイオリンの町のように、技術や産業を学びに人が集まるようなまちが理想。
- ・ ・ そのためにも、やはり企業との連携、産業振興が重要と認識している。
- また、基本目標 1-3③に記載の通り、能代市全体でチャレンジできる機運の醸成が重要と考える。日本の中でも人口減少・少子高齢化が著しい秋田県、特に本市において、人口減少の先進地として課題を前向きに捉え、挑戦・チャレンジしている様相を大々的にアピールしてはどうか。

若者の地元就職の促進と併せて将来本市に戻りたくするような関係性を構築すべき

- 基本目標 1 の数値目標「新規高等学校卒業者就職率」について、実績値 45%は高い割合と評価している。しかし、保護者としては、子どもには他の地域も見てもらいたい。卒業後も本市に留めることよりも、他地域での経験を経たうえで、将来的に「能代市へ帰りたい」と思ってもらいたい。

基本目標 2

若者の地元定着を促進するためにキャリア教育、ふるさと教育が重要

- 移住定住の推進も少しずつ定着しているような状況であるが、若年層が流失していることが最大の課題。国・県も模索している中で、「能代市に帰ってきてもらう」ための具体的なご提案等あればいただきたい。
- 第 3 回会議のグループディスカッションでは、子どものころから地域の歴史を学び、ふるさと教育などを通じて地元への定着を図ることが必要という話が出ていたが、今回、p19,33 に記載の通り、郷土愛に触れられていることが良かった。人口流失に歯止めをかけるためには、郷土愛を育むことが最重要と考えている。
- この地域に生活している人の視点で物事を考えていくことは非常に重要。国からの下達に従うだけでなく、市民が自ら考えられる地域を作っていかなければならないと考える。そのため、キャリア教育は一番重要と思量する。
- 能代市の魅力を伝えていくために、子どもの頃からキャリア教育や体験型学習、地域のことを知る場の創出が重要ではないか。本市に来て 40 年以上経つが、自然、食、文化等豊かな資源が多い地域である。また、子どもは 3 人とも本市から一度離れたが、現在一人は能代市に戻り就職した。そうした多様な選択肢の中で選ばれるような地域にしたい。

基本目標 3

子育てへの課題解消に向けた支援策の強化が必要

- 総合戦略素案については、市民のことを考えられた内容との印象を受けている。給食費無償化は有益な取組だが、同時に医療機関の減少や出産に対するハードルの高さ等解決すべき課題は多いと思料。様々な課題への解決策として、病院施設や遊び場等、必要な施設の増設は非現実的とも考えている。

基本目標 4

市民の参画を促しながら、本市の魅力を掘り起こし、その発信を強化していくべき

- 令和 5 年度の市民意識調査で「能代市を好きだと思う」は回答した人の割合は、58.9%と半数以上いるが「能代市のどこが好きか」については捕捉しているか。「好き」の感覚は、個々人によって異なるため、市民から写真や各種メディア投稿を通じて地域ごとの特定の空間や場所等、「好きなもの」を寄せて頂き、それらを本市の魅力として発信するのはどうか。
- .. アンケートでは能代市が好きか否かの質問に留まっている。（事務局）
- .. 好きなスポットや、人柄、食等人それぞれ好みは異なり、季節ごとにも違いがある。魅力（好きなもの）を集めるという取組は興味深い。（事務局）
- .. 一方、半数近くは「好き」と答えていないため、何があれば魅力に感じてもらえるか、という観点での意見も気になる。気軽な意見聴取ができると良いと思料。
- また、後世に残すべき文化、歴史があることを世代関係なく市民が自覚し、それらを地域の良さとして掘り起こしていくことも必要。井坂記念館は、木都の父としての偉業を伝える重要な施設にも関わらずパンフレットがない。そうした歴史・文化を学び体験できる場所を創出することも市民の役割と思料する。

本市を離れた人との持続的な関係構築への支援をしてはどうか

- 現在の生活には満足しているが、移住してきた一住民としては実家への帰省時や、遊びに行く際には交通費の助成などがあれば、本市の定住化が図れるのではないかな。

多様な教育の選択のため、安心・安全を支える支援を強化してはどうか

- 基本目標 4-1 に関して、小学生の通学路で自動車の往来が多い場所があるため、スクールバスがあれば保護者も安心でき、また送迎に関しても助かる。それによって学校を選択しやすくなるのではないかな。

③ 総合戦略会議の実施体制や推進方法に関する意見等

テーマ別議論によって、より具体的な意見を引き出しやすくなるのではないかな

- 班ごとにテーマを分けて議論したほうが具体的な意見も出やすくなり、議論はより深まると思料。内容にボリュームがあるため、焦点を絞らないと総花的な意見になってしまうのではないかな。
- 市民の意見を出し合う場が非常に重要であるため、今後の課題として検討いただきたい。（事務局）
-

他の課と連携して、市民の学び・意見交換の場を企画してはどうか

- 戦略会議の中で、生涯学習課などと連携して歴史や文化を学習できるような企画をしてはどうか。また、様々な所管課との意見交換する場があった方が良いと考える。
- 今年度の戦略会議は総合戦略策定に向けた意見交換等に行っているため、次年度以降となるが例年 2 回会議を行っており、企画できる可能性はある。（事務局）